

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1164		
科目名	教養特殊講義 4		
担当教員	今野 広紀,河合 一武,北田 典子,清水 千弘,日吉 秀松		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 3		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類			
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 D1 市民的素養と参加（60%） C1 倫理的思考・社会認識（20%） I1 理解・分析と読解（10%） I2 量的分析（5%） I3 情報分析（5%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 1 萌芽期 ～ 2 進行期		
科目概要・キーワード	本講義では、様々な研究領域を持つ担当教員が、競技スポーツ種目としてはサッカー、武道の2種目を事例として、競技スポーツとの関連性としては神経生理学、競技の発達史、AI（人工知能）、医療、政治と設定された主題に基づき、多様な観点から教養のかつ専門的知識をオムニバス形式で展開します。競技スポーツ種目はあくまで事例であり、種目を越える視点で幅広い知識を学修します。授業は講義形式で行われ、資料・視聴覚教材も使用して実施します。なお、授業を補完・代替するためにオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れる場合があります。 ■ キーワード：神経生理学、武道、AI（人工知能）、健康指標、政治		
授業の趣旨	■ 副題 競技スポーツを起点としながら、関連する様々な専門的な考え方を習得し、スポーツ科学からの学びの幅を広くすることができる社会人になりましょう。 ■ 授業の目的 技術革新が進む現代社会において、スポーツ科学を理解することは、私たちが競技スポーツに取り組む上で問題の理解や解決のための多くのヒントを与える要素となります。本講義では、スポーツ科学の専門的な理解を通じて、様々な問題解決方法を学習します。 ■ 授業のポイント 近年、スポーツ科学はより進化しています。第1-3回の講義では、健康増進施策の内容や医療保険制度の仕組み、様々な健康指標を理解することを目的とし、第4-6回の講義では、武道を事例とする競技スポーツの発達史、分類と特性、稽古内容、指導方法等を理解することを目的とし、第7-9回の講義では、AI（人工知能）の競技スポーツへの活用や課題を理解することを目的とし、第10-12回の講義では、オリンピックを始めとするスポーツへの政治介入のあり方を理解することを目的とし、第13-15回の講義では、サッカーを事例とする競技スポーツの科学的分析方法と結果を理解することを目的とします。講義を通じて、文化的素養、市民的教養としてスポーツ科学の専門的知識を理解するとともに、情報の理解・分析を通じて、市民参加への応用を図ります。		
総合到達目標	■ 競技スポーツを起点としながら、神経生理学、競技の発達史、AI（人工知能）、医療、政治に関連した専門的な考え方を学び、スポーツ科学からの学びの幅を広くすることを習得する。 ・ 競技スポーツを科学的に分析できる（第3回、第7回～第9回、第13回～第15回）。 ・ 競技スポーツの発達史を理解できる（第4回～第6回、第10回～第12回、第13回）。 ・ スポーツに関わる健康増進の諸政策を理解できる（第1回～第2回）。		
成績評価方法	■ リアクションペーパー（30%）：適用ルーブリック D1・C1 （評価の観点）講義への参加意識の濃度をリアクションペーパー等で評価します。 （フィードバックの方法）次の講義にて、補足的な解説をします。 ■ 各担当教員の最終回におけるレポート（70%）：適用ルーブリック I1・I2・I3		

	(評価の観点) 各単元において最も重要な点について問い、理解度を評価します。 (フィードバックの方法) レポート配布の回の講義にて、事前にポイントを解説します。	
履修条件	講義で採り上げられるサッカーと武道はあくまで事例であり、種目を越える視点で幅広い知識を学修しますので、自身の取り組む競技種目に関わらず、学びを得ることができます。	
履修上の注意点	競技スポーツを起点としながら、関連する様々な専門的な考え方を習得し、スポーツ科学からの学びの幅を広くすることは私たちにとって極めて大切なことです。本講義による学びを通じて、自身の取り組む競技種目への活用する内容を、具体的に想定しておきましょう。	
授業内容	回	内容
	1	①授業のテーマ ガイドンス、スポーツと医療①：スポーツと健康増進政策・医療政策【担当者：今野】 ②授業概要 授業の概要・目的・到達目標、および授業の方法、評価規準について説明する共に講師を紹介します（D1・C1）。スポーツ（運動）の実践による国民の健康増進は、健康で文化的な生活を保障することに繋がり、結果として国民医療費の削減にも寄与する。本講義では、近年、スポーツと健康増進、医療において強まる政策的関連性に鑑みて、施策の概要を解説します（D1・C1・I3）。 ③予習（120分） シラバスに目を通し、本講義全体の学習内容を把握し、これから学ぶ知識について整理する。また、「令和2年版 厚生労働白書」の健康増進に関する資料に目を通し、内容を整理する。 ④復習（120分） スポーツと医療について学習する意義、スポーツと健康増進、医療との政策的関連性について具体的に整理し、その意義をまとめる。
	2	①授業のテーマ スポーツと医療②：受傷時に利用する公的医療保険の仕組みと課題【担当者：今野】 ②授業概要 スポーツの実践においては受傷を伴うことが少なくない。治療に際しては、医療機関を受診することになるが、公的医療保険の仕組みについて十分な理解をしている者は少ない。本講義では、公的医療保険の仕組みと課題について解説します（D1・C1）。 ③予習（120分） 「令和2年版 厚生労働白書（資料編）」の医療保険に関する資料に目を通し、内容を整理する。 ④復習（120分） 公的医療保険の仕組みと課題について、具体的にまとめる。
	3	①授業のテーマ スポーツと医療③：様々な健康指標の意義と算出方法【担当者：今野】 ②授業概要 スポーツの実践では受傷を伴うことが少なくないが、治療期、リハビリテーション期においては健康状態の把握が定量的に可能となることが望ましい。健康指標には早世指標、障害指標、早世障害総合指標、QOL指標といった様々な種類があることから、各指標について説明した上で、競技スポーツにおける有用性の高い指標について事例を交えて解説します（I1・I2・I3）。 ③予習（120分） 健康指標に関する資料に目を通して、核心的な内容を整理する。 ④復習（120分） 健康指標の重要性とその算出意義について、まとめる。
	4	①授業のテーマ 武道とその学ぶ意義【担当者：北田】 ②授業概要 武道は武士道の伝統に由来する日本で体系化された武技の修練による心技一如の運動文化で、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う人間形成の道であるとされ、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道などの種目がある。本講義では、武道の発達史とその流儀について解説します。 ③予習（120分） 武道の歴史とその流儀について、調べておく。 ④復習（120分） 武道の発達史とその流儀から学び取るべきことをまとめる。
	5	①授業のテーマ 武道の指導方法と指導能力の向上【担当者：北田】 ②授業概要 武道の指導には伝統的な指導方法があるが、近年は様々な課題が指摘され、指導能力のより一層の向上が求められるようになってきた。本講義では、武道の指導者にとって必要な基礎的能力とその能力向上のための方法を解説します。 ③予習（120分） 様々な武道の指導方法について、相違点を調べておく。 ④復習（120分） 武道の指導者に必要な基礎的能力とその能力向上のための方法について、まとめる。
	6	①授業のテーマ 武道の国際化【担当者：北田】 ②授業概要 近年、武道の国際化は急速に進展する中、武道の発展と国際化のあり方には様々な課題が指摘されている。本講義では、武道にはそれぞれに流派、礼法、技術体系がある中で、国際化が進む中でどのようにそれを伝え、深化させていくかを解説します。 ③予習（120分） 武道の国際化の状況（関心のある種目でよい）について、調べておく。 ④復習（120分） 武道の発展と国際化の中で直面する課題について、まとめる。
	7	①授業のテーマ スポーツと統計・AI（人工知能）④【担当者：清水（千）】 ②授業概要 近年、競技スポーツの世界においてビッグデータやAIが積極的に活用されるようになってきた。本講義ではAIとは何か

	について、その発展の歴史を含め、核心的なメカニズムを解説します（D1・C1・I3）。 ③予習（120分） AIとは具体的にどのようなものであるか、インターネットなどで調べておく。 ④復習（120分） 統計学とAIとの関連性、相違点などを整理し、競技スポーツへのAIの適用可能性を検討する。
8	①授業のテーマ スポーツと統計・AI（人工知能）②【担当者：清水（千）】 ②授業概要 競技スポーツへのAIの導入は端緒についたばかりであるが、興味深い発展性のある事例も多い。本講義では競技スポーツにおける統計分析・AIの活用事例を紹介し、AIの有効性と限界、問題点について解説します（I1・I2・I3）。 ③予習（120分） 関心のある競技について、AIの活用事例を調べておく。 ④復習（120分） 関心のある競技スポーツへのAIの応用について自分の意見、考えをまとめる。
9	①授業のテーマ スポーツと統計・AI（人工知能）③【担当者：清水（千）】 ②授業概要 近年、社会においてビッグデータやAIの活用を耳にするようになった。本講義では、AIが社会に与える影響について解説し、その関連性の中での競技スポーツの未来について議論します（D1・C1・I3）。 ③予習（120分） AIが人間の知能を超える転換点（技術的特異点）を迎え、社会生活に大きな変化が起こる「シンギュラリティ（Singularity）」が訪れるとはどういうことかインターネットで調べておく。 ④復習（120分） AIの進化がもたらす未来について、自分の関心のある分野を中心に意見をまとめる。
10	①授業のテーマ スポーツと政治①【担当者：日吉】 ②授業概要 東京オリンピック・パラリンピックを契機に、改めてオリンピックの歴史を知る機会が増えた。本講義では、古代オリンピックの目的を振り返り、スポーツに対する政治的な介入の歴史と国家主義の概念との関連性について解説します（D1・C1）。 ③予習（120分） 古代オリンピックの歴史、特に政治問題との関連のあったオリンピックの出来事を調べ、まとめておく。 ④復習（120分） オリンピックの目的を整理し、スポーツへの政治的な介入のあった事例についてまとめる。
11	①授業のテーマ スポーツと政治②【担当者：日吉】 ②授業概要 近年、オリンピックの歴史を知る機会が増えたがその誕生に至る経緯を学ぶ機会が少ない。本講義では、オリンピック競技大会の誕生とその意義を解説し、オリンピックへの国家主義の影響、戦争の影響について具体的に紹介します（D1, C1）。 ③予習（120分） 1936年の第11回オリンピック・ベルリン大会と1940年の第12回オリンピック・ヘルシンキ大会について調べ、まとめておく。 ④復習（120分） オリンピック競技大会の誕生の経緯を整理し、オリンピックへの国家主義の影響、戦争の影響のあった事例についてまとめる。
12	①授業のテーマ スポーツと政治③【担当者：日吉】 ②授業概要 スポーツの国際大会では差別反対や多様性への理解を訴える場面があるが、その意義について日本人は説明を受ける機会が少ない。本講義では、世界的規模で行われるオリンピックにおいて、差別反対の式典やボイコット問題が発生した事例を紹介し、オリンピックと政治的諸問題との関わりについて解説します（D1・C1）。 ③予習（120分） 2020年に米国を始め、世界中で人種差別問題への共闘と団結を示す「片ひざをつく」行動が広がったが、2021年に予定されるオリンピックとパラリンピックで参加選手がこの行動をとった場合には処分の対象となるという。こうした出来事が起こるのはなぜなのか、背景を調べておく。 ④復習（120分） オリンピックと政治的諸問題との関わりについて、その是非を自分の意見としてまとめる。
13	①授業のテーマ サッカーの起源・語源と競技の精神【担当者：河合】 ②授業概要 近年、サッカーの競技人口は増加したが、その起源などを改めて学ぶ機会が少ない。本講義では、サッカーの起源・語源に纏わる史実から近代サッカーの成立に至るまでをFootball Associationの創設や競技規則・競技精神の変遷とともに考察する（D1・C1）。 ③予習（120分） サッカーの起源・語源とFootball Association創設の関連を調べておく。 ④復習（120分） サッカーの起源・語源や競技規則・競技精神について整理する。
14	①授業のテーマ サッカー選手の生の非贈与性～誕生月と出生順位【担当者：河合】 ②授業概要 競技スポーツに取り組む者の中で、スポーツ選手の優位性はどのような要素によって決定づけられるのか統計的な傾向を知る機会意外に少ない。本講義では、「何月に生まれた」「何番目に生まれた」など、自分では操作できない「生の非贈与性」についてサッカー選手を対象に調査した結果をもとに、なぜ特異的な現象が起こるのかを検証する（D1・C1・I1・I2）。 ③予習（120分） 「相対年齢効果（Relative age effects）」について調べておく。 ④復習（120分） サッカー選手の誕生月と生の非贈与性に認められた傾向について他の競技種目でも整理する。

	15 ①授業のテーマ ヒト（アスリート）の脊髄歩行中枢に関する神経生理学【担当者：河合】 ②授業概要 ヒトの腰髄に対して経脊髄的に連発で磁気刺激を行うと、律動的な歩行様の両下肢運動を誘発できることが河合らの研究で明らかになった。この磁気刺激は、脊髄損傷や脳梗塞後の下肢麻痺による歩行障害に対する新しいリハビリテーションになることが期待される。本講義では、脊髄歩行中枢のあるヒト腰背部への磁気刺激は歩行様運動を誘発することから、競技種目特性に鑑みた刺激強度特性、介入運動による影響について解説する（D1・C1・I1）。 ③予習（120分） 「脊髄歩行中枢」について動物実験モデルの結果を調べておく。 ④復習（120分） 15回にわたる授業の内容を整理し、まとめる。
関連科目	
教科書	
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開催時に告知します。 ■オフィスアワー：メール等でアポイントメントを取ることであり、対応します。
研究比率	

